

飛翔定時大会版

2015/5/14 No.2

発行:日本司法書士政治連盟

発行人:田嶋規由 編集人:安井 利国

ホームページアドレス:<http://www.ns-seiren.net/>

メールアドレス :office@ns-seiren.net

〒160-0003 東京都新宿区本塩町 9 番地 3

TEL03-3359-0498 fax03-5366-5310

★ 詳細の情報は homepage をご覧ください

★ 速報のため、変更される可能性があります

【日司政連からのお願い】 政連会費をより有効に活用したい。 ⇒ そこで、皆様のメールアドレスを各单位司政連へご連絡ください。

第45回定時大会開催される

平成27年4月11日(土)、第45回定時大会が、新緑につつまれた東京・元赤坂の明治記念館において開催された。羽生・藤井両副幹事長の司会により、物故者へ黙祷を捧げたのち、徳竹副会長の開会の辞により開会した。

大会当日は統一地方選挙の最終日に拘わらず、来賓として上川陽子法務大臣、階猛司法書士制度推進議員連盟事務局次長、竹谷とし子財務大臣政務官が出席されご祝辞を頂いた。

また、齋木賢二日本司法書士会連合会会長、松井秀樹公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート理事長および清家亮三関東ブロック会長・東京司法書士会会長など多くの関係団体代表が来賓として出席され盛大な大会となった。



上川陽子法務大臣 挨拶要旨

私は、かつて議連の事務局長として、オンライン化、簡裁代理等をつうじて皆様と共に活動してきました。国民に寄り添った日常の業務、140年の長きにわたりご努力と研鑽を積みながら制度の維持・改善と未来に向かっての様々なご努力に心から敬意と感謝を申し上げます。

今、法務省に身を置いて国民にとって安心・安全なネットワークを制度として運用体として実現、時代の変化に応じて制度改正をする等、等しく国民が制度の恩恵に浴することが出来るように目標として関わっております。

登記の専門家としての様々なご努力と実績、法律の専門家としての訴訟代理、高齢化、認知症患者の増加の中で成年後見制度を身をもって実現している等これらの実績が更に上の段階へとあるのではないかと。

東日本大震災から4年、最初の混乱の時から地元司法書士はもとより、全国各地からも様々なかたちで支援され、仮設住宅での法律相談等きめ細かに取り組まれていることに心から感謝申し上げます。街づくり、高台移転では、土地の登記について大きな課題があります。復興には全閣僚取り組むよう指示されており、更なる支援をお願いするものです。

法テラスを含め法律相談についても、福祉の視点等様々な角度からの組み合わせ、周辺環境を含めてネットワークをつくりながらサポート時期に入っていると思います。

地域全体の中で法律相談をはじめとする日常的な課題についてご研鑽、ご努力を願い、140年の歴史に更に磨きをかけて国民一人一人の幸福のため全国津々浦々でのご活躍を願うものです。

階猛司法書士制度推進議員連盟事務局次長 挨拶要旨

私は、岩手県出身であります。被災地の復興のため皆様方のご尽力から感謝申し上げます。本日は大震災から4年と1ヶ月ですが、被災地では今なお行方不明者が2700人おられます。相続登記等権利関係について被災三県において多大なるご努力を頂いておりますが、被災地の復興はまだまだ道半ばであります。長年にわたって相続登記が放置されている実状において、権利関係の調整は大変な労力を要しております。司法書士の皆様の知見を借りながら新しい制度も必要ではないかと思っております。

認知症の方500万人、私の岩手では人口130万人で8万人の方がおられます。今後団塊の世代が進みますと10年後700万人と予想されます。今現在の利用者は143,600人程度、潜在的ニーズと共に消費者被害、財産上の被害等の社会現象をみると、国政の重要な課題であります。

被災地においても成年後見制度により、社会的弱者、助けを必要とする方への寄り添ったご支援をお願いいたします。



竹谷とし子財務大臣政務官 挨拶要旨

制度143年にわたって市民の立場から、最優先すべきは国民の利益に叶うか否かの視点に立って、生活者にとって最も身近な法律家として、国民の権利保護に大きな貢献をしていることにつき、感謝とお礼申し上げます。



皆様方から出されている、法律相談権を司法書士法上明確に位置づける、公正・妥当かつ透明性の高い懲戒制度の確立のために処分権者を法務大臣とする等の要望については、まずは関係各位の理解を得るために皆様方と共に取り組んでまいりたい。

成年後見制度利用促進法（仮称）早期成立のためリーガルの松井理事長をはじめ皆様と力を合わせ公明党上げて取り組んでまいりたい。平成22年12月制度促進のためプロジェクトチームを党内立ち上げ大口国対委員長、魚住参院議員会長はじめ多くの議員が現場の実状・支援を受け要綱骨子をまとめた。司法・行政・士業・業界の壁を突破して地域に根ざしたネットワーク、制度を支える仕組みを構築してまいりたい。超高齢化社会を迎える我が国にとって必要不可欠な法律であると考えております。

田嶋日司政連会長 挨拶要旨

大会を通じて司法書士を巡る状況と課題を共有して日司政連執行部との連帯と信頼をより深まる場になることを期待いたします。

本日は、来賓として上川陽子法務大臣、階猛司法書士制度推進議員連盟事務局次長、竹谷とし子財務大臣政務官の3名の先生方のご出席をいただいております。統一地方選挙の最終日であります。日程調整が非常に難しい中3名の先生方のご出席をいただいたこと、心からお礼申し上げます。

齋木連合会長をはじめ多数の友好団体の代表の方々の出席をいただいておりますこと併せて報告させていただきます。昨年の定時大会で、改革の実現を掲げ制度基盤の安定と強化のために今一番必要な且つ実現性の高い法改正の実現を目指して連合会と一体となって総意・総力で望むと宣言いたしました。

この一年間連合会とは要綱の作成を介して、幾度も協議会を重ね、意思統一を図ってきました。残念ながら連合会で組織内の調整と集約に手間取りこの半年間中断・空転の状況が続き今に至っています。

ご承知のように弁護士が今3万5千人、法科大学院の見直し・再編、試験合格者の削減が日程にのぼり、弁護士の生活難・就職難が顕在化しています。このような中、代理権拡大型の司法書士法改正は、大きな障害と反撃に直面するだけでなく、日弁連・法務省からは門前払いの実状と聞いています。この状況のもと、一日も早く議連の理解と支援を戴けるような、身の丈にあった地についての改正要綱の作成と早期実現を目指さなければなりません。連合会には速やかに決断していただき、行動することを期待してやみません。

各隣接の専門職は、この一年要綱を絞り込んでそれぞれの業法の改正を実現しています。議連の先生方に伺えば、改正には最低でも一年を要すると言われていています。法改正が棚上げになり、風化させるわけにはいきません。

本年も昨年と同じスローガン、改革実現を掲げました。本日この場でしっかりと議論をしていただき、強い意思統一のもとに待たなしの一年に立ち向かっていく所存です。我々の業務の実績と実状に支えられて、国民の視点に立った要綱の策定とその実現に向けて、執行部は各単位政連と連帯し、連合会と連携し、今年も全力で取り組むことをこの場でお誓いして挨拶いたします。



齋木日司連会長 挨拶要旨



司法書士法改正については、若干停滞しているが時期・状況に応じて、基本的には出来るところから着実に、制度基盤強化を優先して対応し、将来ではなく今年中に道筋を付けたいと考えております。政連の皆様のご協力を願うものです。

東日本大震災被災三県では20万人を超える方が仮設住宅・みなし仮設住宅に住んでおり、全国各地にも同様に避難生活を送っております。これらの住宅から防災公営住宅に移る際に連帯保証人が求められる。この件では会長声明を出しましたが、連帯保証人なしでも入居出来るよう政治連盟の立場での協力を願うものです。

成年後見制度の立法化は、重要であり早急にリーガル・政治連盟とともに活動を展開まいりたいと考えております。

国交省が所管する空きや問題は、特別措置法が5月に全面施行されます。これは全国の自治体が主体となる事業で、戸籍取り寄せは自治体職員が出来るようになっておりますが、相続人の調査、相続財産管理人・不在者財産管理人・成年後見人選任等の場面で司法書士への要請・活用も出てまいります。

同じく国交省の中で所有者不明土地の問題について協議が開始され司法書士側からも参加をいたします。また法務省民事局内では相続未登記問題を早急に解決すべく日司連とも協議に入っております。

空き家問題820万件、所有者不明土地を含めると1000万件以上の案件になると予想されます。昨日の全国会長会でもこれらの問題について全国の市町村に対し単位政連と一体となって運動を展開するよう要請したところです。今後とも政治連盟とともに頑張るまいりたいと考えております。

大会終了後、懇親会が盛大に行われました。多くの国会議員、議員秘書ならびに各士業団体の来賓を迎え、大会に参加した会員にとって和やかな談笑と深い親交の懇親会となりました。また、統一地方選挙の合間を縫って出席していただいた国会議員の挨拶は次の通りです。



河村建夫司法書士制度推進議員連盟会長 挨拶要旨

田嶋会長の続投、強いリーダーシップで司法支援、国民に寄り添う街の法律家として益々発展することを期待いたします。現政権盤石の中であらゆる改革進めなければならない。田嶋会長の下、一致結束して改革推進のプログラムを策定し着実に進めてまいりたい。東日本大震災から四年が経過しましたが、被災各地において身近な法律家として活躍、今後ともご支援を願うものです。

葉梨康弘法務副大臣 挨拶要旨

本格的な人口減少社会を迎える中で、持続的な経済成長・経済取引を更に活性化させるか、法務行政もアベノミクスの一翼を担っております。

遺言制度、成年後見制度の利活用、権利者不明の土地の権利を確定しての利活用等紛争を未然に解決する、これらの先頭を切ってきたのは司法書士であり、紛争を未然に解決する制度が司法書士制度でもあります。日本の経済社会は皆様の活躍を期待しております。



桜田義孝衆議院議員 挨拶要旨

司法書士の皆様方は、街の法律家として市民に直結した身近な存在であります。今後とも更なるご活躍を祈念いたします。

高木美智代衆議院議員 挨拶要旨

皆様方は、市民に身近な法律家として活躍をされている。私共も国民目線に立って人に温かい政治の実現を目指している。皆様方の要望様々承っております。成年後見制度も法の成立に向け前に進めなければなりません。

第45回定時大会懇親会出席来賓者（敬称略）

【国会議員関係】

河村建夫司法書士制度推進議員連盟会長
櫻田義孝（自民党）
小川敏夫（民主党）
高木美智代（公明党）
若狭 勝（自民党）

葉梨康弘法務副大臣
長島昭久（民主党）
小池ゆり子（自民党）
中川雅治（自民党）
久世公堯元司法書士制度推進議員連盟幹事長

【関係士業団体等】

山岸憲司日本弁護士政治連盟理事長
平山正剛日本弁護士政治連盟前理事長
中西 豊日本行政書士政治連盟会長
後藤 計日本不動産鑑定士政治連盟幹事長

堀谷義明全国社会保険労務士政治連盟会長
横山一夫全国土地家屋調査士政治連盟会長
福田伸一日本弁理士政治連盟会長代理
実川和明前法務省労働組合中央執行委員長